

安全

Safety

DOWAグループは、事業を通じてCSR活動を推進するに当たり、労働安全衛生を最も重要なテーマの一つと考え、「安全はすべてに優先する」との基本理念に基づき、さまざまな安全活動を展開しています。

CSR方針

- 「安全はすべてに優先する」との基本理念に立ち、全従業員が自主的に活動に取り組み、安全衛生水準の向上を目指す
- 労働災害を防止し、従業員の健康づくりを支援する

重点施策 担当者と地区会議の横申機能でレベルアップを図る

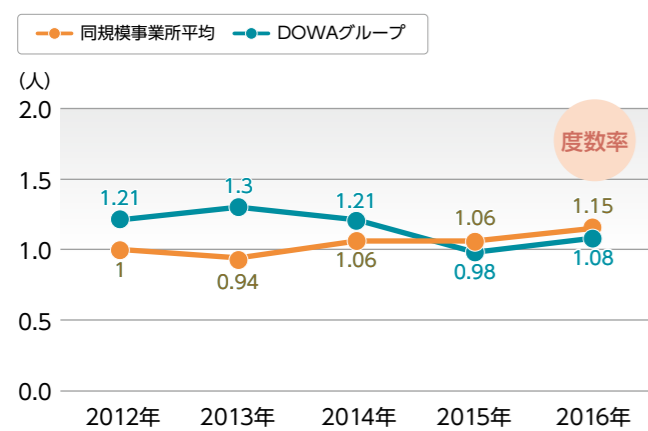
重大な労働災害を防ぐためには、軽微な災害の芽を摘み続けることが最も重要です。DOWAグループでは災害防止に向け、現在全社をあげてさまざまな取り組みを推進しています。

労働災害の発生状況

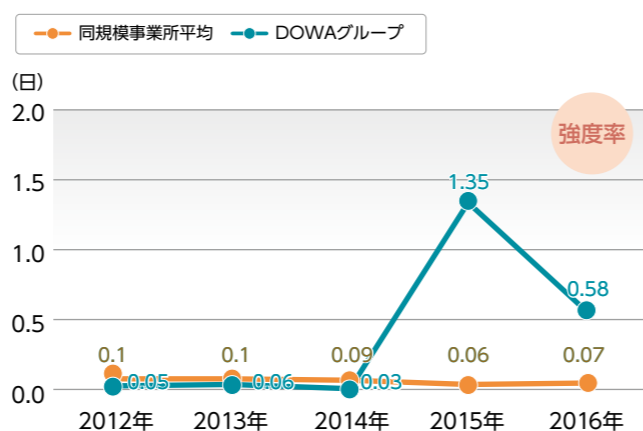
DOWAグループ全体の災害件数は長期的に見ると減少傾向にあります。厚生労働省災害統計における同規模の事業所での数値と比較すると、度数率は1.15に対して1.08ですが、災害の程度を表す強度率については昨年度に引き続き、高い値を示しています。このことは重大な労働災害が発生しているためであり、これをなくすために、状況を全社で共有し、経営層から関係各所に緊急の安全通達を発するとともに、本質安全化に向けた取り組みを開始しています。

※従業員が100～299人(当社の各事業所における平均従業員数)の2015年度の災害統計確定値と比較

労働災害度数率の推移



労働災害強度率の推移



度数率 100万のべ労働時間当たりの労働災害による死傷者数をもって、労働災害の頻度を表します

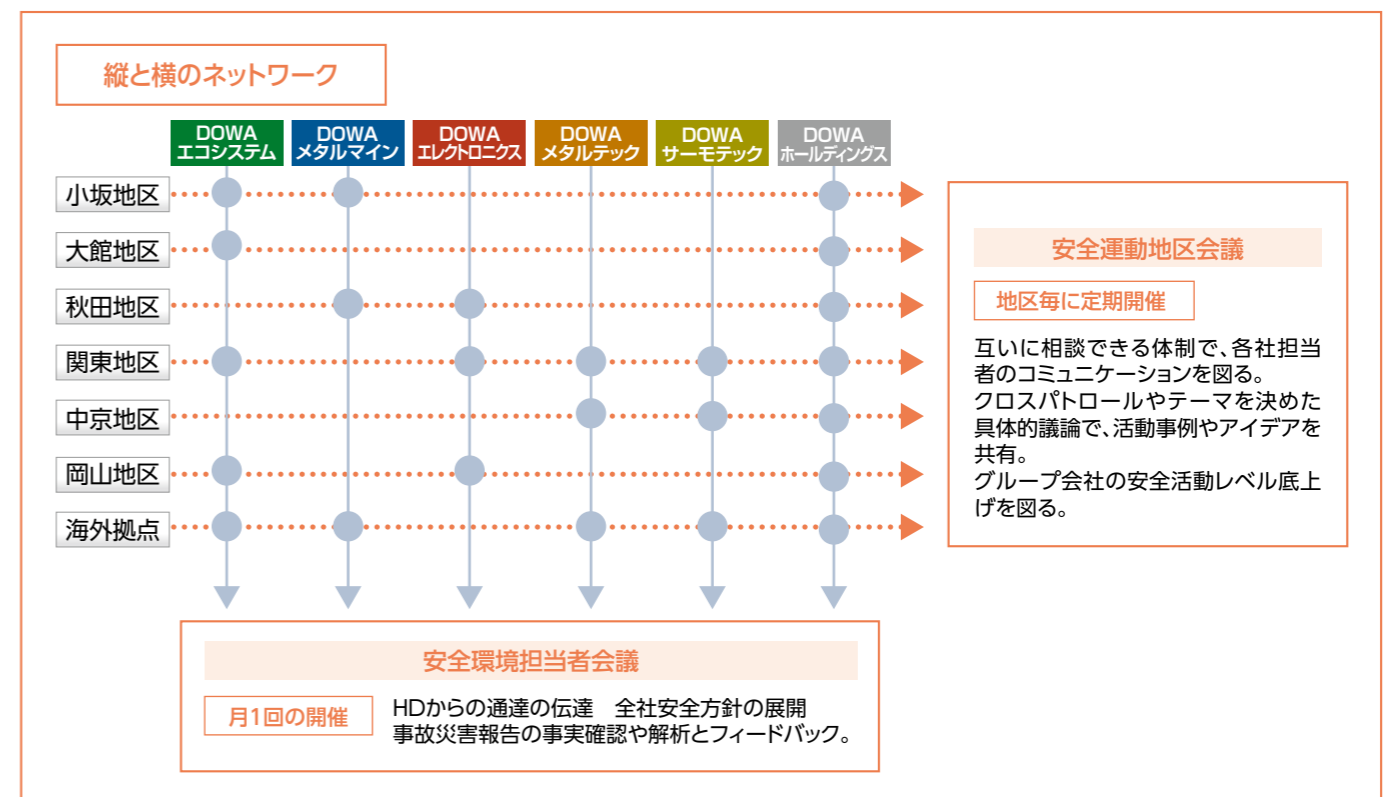
強度率 1,000のべ労働時間当たりの労働損失日数をもって、災害の重さの程度を表します

DOWA安全活動

2012年にスタートした「DOWA安全活動」は、2014年より本格的にグループ全社の取り組みとして展開し、現在では年間災害件数が半数程度に減少するなど一定の効果を上げています。DOWA安全活動は、トップダウン・ボトムアップ・全員参加をキーワードとし、10種類のテーマについて、より実効性の高い活動となるよう、さまざまな取り組みを進めています。中でも、各地区の活動メンバーが交流する「安全運動地区会議」と、事業会社の安全環境担当者が交流する「安全環境担当者会議」という二つの担当者間の交流の場と仕組みをつくることで、活動事例やアイデアの共有によるレベルアップや、指導力の向上を図っています。

グループ内の事故事例に対しては、徹底的な反省と事故分析に基づき、人、設備、管理など多面的に対策を講じて全社で

共有します。重大な労働災害の発生に当たっては、事業会社のみならずDOWAホールディングス環境・安全部門による安全監査を含めた再発防止の横展開を行っています。



危険体感教育



安全職の職場巡視

活動の進捗状況

労働安全分野における2016年度の活動状況と、2017年度の計画は以下のとおりです。

2016年度 実績

安全重点施策	課題	指標	評価	主な実績
全社安全レベルの底上げ	地区単位横断での取り組みの強化	度数率0.9以下	×	1.08
		強度率0.02以下	×	0.58
海外子会社安全教育の強化	来日教育、出前教育の対象国増	4か国以上	○	4か国・地域

2017年度 取り組みと目標

全社安全レベルの底上げ	地区単位横断取り組みの強化	➡	度数率0.9以下 強度率0.02以下
海外子会社安全教育の強化	来日教育、出前教育の継続実施およびフォロー確認	➡	回数:7回

TOPICS

ITを使った安全活動「作業手順書の電子化」

「作業手順書」は、工程における一つひとつの作業を安全、確実かつ効率よく行うための方法を示した文書のことです。安全の基本は作業手順書をしっかり守ることにあります。

熊本県で家電リサイクルを行う「アクトビーリサイクリング」では、現場の作業効率と安全活動のレベルを向上させるため、ラインごとに設置したモニターやタブレットで必要な情報を呼び出せるよう作業手順書の電子化を進めました。これにより、更新管理や検索性の面からも利用しやすいシステムとなりました。

さらに、電子化した作業手順書にヒヤリハット情報(重大な災害や事故には至らないものの直結してもおかしくない一歩手前の事例)を入力できるようにして、安全情報をリアルタイムで従業員が共有できるようにするとともに、提出されたヒヤリハットを自動で集計・リスト化して逐次管理職にメールで報告される仕組みにすることで情報共有のスピードアップを図りました。

今後は管理者のアクションなども記録できるようにし、情報の一元化と見える化を進め、作業手順書の正しい理解と実践を一步一步確実にものにしていきたいと考えています。



01 労働安全の取り組み

DOWAグループは「安全はすべてに優先する」との基本理念に立ち、「全従業員が自主的に活動に取り組み、安全衛生水準の向上を目指す」という安全衛生方針のもと、全事業所において安全衛生委員会などの組織を整備し、年間安全衛生計画に基づいてさまざまな安全活動を展開しています。

■ リスクアセスメント(RA)発表会開催

DOWAグループは、毎年6月に、「グループ各社の優れた取り組みの共有」と「担当者の人的ネットワークの形成」を通じて、各社の取り組みレベルの向上に繋げることを目的としたリスクアセスメント発表会を開催しています。

6回目の今回は、国内6社の発表と海外2社の招待講演が行われ、業務改善活動と結びつけた活動や社外の関係者も巻き込んだ活動など、各社工夫を凝らした発表がされました。

■ DOWA Safety Award in Thailand

タイ国内のDOWAグループ各事業所が優れた安全の取り組みを発表する安全大会であるDOWA Safety Award in Thailandがバンコク市内のホテルで行われました。リスクアセスメント、危険予知トレーニング、安全パトロール、ヒヤリハット、5S活動など幅広いテーマで発表があり、なかには前年に実施した来日教育の成果が発表に繋がった例もありました。遮断した動力スイッチの操作ができないように鍵で固定したり警標を掲げたりする「ログアウト・タグアウト活動」を発表したDOWAサーモテックタイランドが優勝し、その活動内容は、日本での安全大会や中国安全大会において優良事例として共有されました。



02

健康管理の推進

DOWAグループでは、健康保険組合を通じ、従業員やその家族の健康管理・増進に向け、健康診断受診やメンタルヘルス対策の推進、スポーツ行事の支援など、さまざまな取り組みを展開しています。

■ 健康診断

一人ひとりが健康への意識を高め、心身の健康を維持できるよう、毎年の定期健康診断の確実な全員受診に部門や事業所単位で取り組んでいるほか、人間ドックや婦人科健診、インフルエンザ予防接種などの各種助成制度も充実させています。また、40歳以上の被保険者および被扶養者を対象とした特定健診(特定健康診査)の受診率向上に向け、グループ報による情報提供などを実施し、受診率は少しずつ増加傾向にあります。

さらに、スポーツや運動を通じて健康なからだを維持・増進していくよう、従業員のスポーツ行事への補助金交付制度を設け、健康づくりを支援しています。

■ メンタルヘルスの取り組み

DOWAグループでは、従業員の心の健康管理のため、メンタルヘルス・カウンセリング制度を運用し、専門カウンセラー(臨床心理士)による電話相談を受けられる専用ダイヤルを設置しています。誰もが安心して相談できる窓口は社外におき、厳重なプライバシー管理を行っています。さらに2013年度からは、自身のストレスへの気づきを促し、ストレスの原因となる職場環境の改善につなげるため、メンタルヘルスを自己診断できるストレスチェック・ツールを導入し、従業員のメンタルヘルス不調の未然防止に取り組んでいます。